

事務事業名	幼児期の運動促進に関する普及啓発事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	指導支援グループ	課長名	山崎 修
	施策名	(22)子育て支援の充実	担当者名	川本 則男	電話番号	0854-40-1072 (内線)
	目的 的 対 象	A)子ども(乳幼児・児童生徒) 意 A)心身ともに健やかに育つ。B)安心して子育てができる。 B)子どもの保護者 意 B)	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 2 事業名 項 目 中事業 中事業 2 0 0 5 0 4 事業名	幼稚園総務管理事業 幼児期の運動促進に関する 普及啓発事業	
	基本事業名	(063)子どもの健康増進	目的 的 対 象	子ども 意 健康で過ごす。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 年度～ 26 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
H24年3月に策定された幼児期運動指針の理念を踏まえ「幼児期は生涯にわたってスポーツに親しむための基盤づくりの重要な時期である。」という基本的な考えに基づき、幼児期からの「運動遊び、身体活動」を積極的に実施していくために、3年計画でこの事業を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 幼児期運動プログラム策定のための幼児期運動指針実践調査検討委員会の開催。市内幼稚園、保育所の幼児の実態調査・職員の実践研修会の開催。	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 雲南市幼児期運動プログラムの策定のための幼児期運動指針実践調査研究委員会の開催 幼児期の体力測定・実践研修会の開催			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 実践調査研究委員会会議	回		5	6	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	幼稚園・保育所幼児及び保護者 幼稚園・保育所職員	ア 幼稚園保育所の幼児数	人		774	896	900
		イ 幼稚園保育所の職員数	人		200	190	185
		ウ 指導者による幼児の運動の機会	園		4	11	9
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
①雲南市の幼児の運動の実態を把握する。 ②幼児にとって望ましい運動の機会や場を提供する。	ア 自分の子どもが心身ともに健全だと感じる保護者の割合	%		93.5	95.0	95.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
計5,440千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円		4,930	5,440	5,000
内訳		県支出金	千円				
報償費611,400円		地方債	千円				
旅費1,577,278円		その他	千円				
役務費42,400円		一般財源	千円				
需用費1,044,266円		事業費計 (A)	千円		4,930	5,440	5,000
借料及び損料913,990円	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	
物件費1,250,666円		延べ業務時間	時間		360	720	
		人件費計 (B)	千円		1,332	2,664	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		6,262	8,104	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
①国において幼児期の運動指針が示された。雲南市においてもバランス感覚などの基礎的な体力の弱さがみられる。	幼児の運動実態調査。 幼児期版「夢」発見プログラムの4つの共通題材のひとつである、基礎的な体力・生活リズムと「食」の実践。 職員研修	幼児が体を動かす機会や場は、10年前と比べると確実に減ってきている。幼児期の運動の場と機会の保障は必要である。

事務事業名	幼児期の運動促進に関する普及啓発事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	職員・保護者の意識向上が、幼児の運動の機会に大きくかわると考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	雲南市の幼児の基礎的体力の向上のためには必須である
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		次年度が本格的な事業となるため削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		次年度が本格的な事業となるため削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		受益は子どもであり、保護者であり、幼保全ての子どもを対象としており公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		雲南市の幼児の現状把握と実態に応じた運動の機会と場の提供及び、職員、保護者の意識の向上が幼児の基礎的体力を向上させる。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>本事業では、幼児期運動指針実践調査研究委員会を立ち上げ、3年計画で幼児期の運動プログラムを策定する。1年次は幼児期の運動プログラムの在り方について協議を深めてきた。2年次はプログラムの内容策定を行う。あわせて雲南市の幼児期の運動についての調査、実技研修、講演会などを行う予定である。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		